

〔法学新報〕第九九号 明治三十二年六月二十日

○東京法学院学術講談会

六月二十七日午後一時より同院大講義室に於て開会せり講師院  
友生徒の会する者無慮千余名第一席法学博士一木喜徳郎氏（公  
法の研究方法を論して予算の性質に及ぶ）第二席卜部喜太郎氏  
（人間の目的）第三席院長法学博士菊池武夫氏（司法制度の改  
良に就て）第四席法学博士穂積陳重氏（法律と宗教）第五席法  
学博士岡村輝彦氏（弁護士論）の諸氏順次登壇し各有益なる講  
演を為し散会したるは午後七時頃なり当日の講演は例に依り速  
記の儘本紙に掲載して読者に頒つ事とせり但速記の都合により  
本号には菊池一木両博士の分を掲げ其他は次号に譲りたり、